平成21年度環境活動しポート

初版



取組期間:平成21年4月~平成22年3月

レポート作成日:平成22年6月

社会福祉法人 龍田福祉会



たつだ保育園

保育園の概要

園 名	龍田福祉会 たつだ保育園						
所在地	〒861-8007 熊本市龍田弓削2丁目7番100号						
電話	096-339-4946	FAX	096-339-4600				
敷地面積	2365.80 m²	建築面積	746.14 m²				
園の概要	昭和 55 年 2 月 社会福祉法人龍		,				
	2月 保育園施設設置	•	「県知事)				
	4月 定員60人で発力	足					
	56年4月 乳児保育実施	./°।	소 hn				
	│ 58 年 8 月 火の国祭り鼓隊 │ 59 年 7 月 プール設置	ハレート例	多/JI 				
	59 年 7月 - ブール設置 60 年 9 月 - 園庭拡張						
	61年4月 園附属農園(親	子ふれあい	広場) 設置				
	平成元年4月 たつだ保育園園		,				
	3年4月 定員80名に増員		1 2 1 1 1 1 2 3 1 2				
	4年4月 定員 90名に増員・学童保育開始						
	6年12月 一時保育室増設						
	7年4月 一時保育事業開	始					
	平成 11 年 3 月 園舎大規模修繕及び増設、給食室改築						
	6月 子育て支援事業の一環として園庭開放を実施						
	(ぴよぴよらんど)						
	12年7月 創立20周年記念式典						
	14年2月 園舎増築 14年4日 京昌 120夕に増昌 到月の集い宝族(ころころらんど)						
	14 年 4 月 定員 120 名に増員、乳児の集い実施(ころころらんど) 14 年 5 月 保育園ホームページ開設						
	14 年 5 月 保育園ホームペーン開設						
	19年8月 全園児対象の完全給食実施						
職員構成	園長1名・保育士21名・看護士1名・栄養士2名・調理師2名・調理員1名						
クラス名	0歳児・・つぼみ組 1歳児・・もも組						
	2歳児・・たんぽぽ組 3歳児・・ゆり組						
	4歳児・・ひまわり組 5歳児・・さくら組						
	一時保育・・ひよこ組						
保育方針	・緑豊かな自然環境のもと、集団生活を通して協調性あるなかにも、各々の個						
	性を生かした、たくましい伸び伸びした子どもに育てます。						
	・基本的生活習慣の自立を目指した保育を行います。						
	・情操豊かな子どもになるよう	に元成を大₹ 	事にします。				

保育目標

- ・強くたくましい心と身体をもった子ども
- ・思いやりのある素直な子ども
- ・創意工夫する子ども
- ・礼儀正しく、きまりを守るこども



環 境 方 針

たつだ保育園は、園の保育方針にもとづき保育を行い、子ども達の未来の 環境をまもるため、次の取り組みを行います。

たつだ保育園は、

子ども達に「環境しつけ」を行います 地域との交流を活発に行い、楽しく、安心、安全な保育園を目指します。

こどもたちと職員は

- 1. すべての物を大切にします
- 2. ごみの分別をします
- 3. 無駄な電気は使いません
- 4. 水を大切にします
- 5. しっかりおかたづけをします
- 6. 給食の食材は自家製も含め、県産、国内産使用に努めます
- 7 約束事はみんなで守ります

保護者は

- 1. こどものお手本になります
- 2. 自動車を止めたときはエンジンをきります
- 3. 廃油の回収に協力します

職員、子ども達、保護者のみんなで環境方針の実践に取り組み、 「きまり」をしっかり守ります。

> 平成21年7月13日策定 平成22年4月1日第1回改定 社会福祉法人 龍田福祉会 たつだ保育園 園長 重岡啓一

環境目標

たつだ保育園は、0歳~6歳までをお預かりする保育園であるため、生活における電気、ガス、水、廃棄物による環境負荷が主です。

また、平成 20 年度の後半から環境の取組を始めたため、環境の取組を始める前の平成 19 年度を基準年とし、環境目標を以下の通り設定します。CO2 排出量については、保育日数、児童数により変動するかどうか見極めたいため、それぞれの項目により目標数値を設定します。

項目	H19 年度(基準)	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
-	年間実績	年間実績	目 標	目 標	目 標	目 標
水使用量(m³)	2,828	2,681	2,000			1,800
CO ₂ 排 出 量 (kg-CO ₂)※	47697.3	29933.7	ı	1	1	1
・電気使用量(kwh)	103,543	80,168	77,657(- 25%)	72,480(- 30%)	70,410(- 32%)	69,374(-33%)
・ガス使用量(m³)	845.6	792.6	768.4(-7%)	777.9(-8%)	769.5(-9%)	761.0(-10%)
・暖房ガス使用量(kg)	790	661	734 (-7%)	727(-8%)	719(-9%)	711(-10%)
児童数当たりの CO ₂ 排 出量(kg-CO ₂ /人 · 日)	23.0	14.4	21.4(-7%)	21.2(-8%)	20.9(-9%)	20.7(-10%)
廃棄物リサイクル率(%)	- 発棄物リサイクル率(%)		数量把握	H21 年度	実績をもとに⊦	H22 度検討
給食残飯リサイクル率(%)	_	_	数量把握	H21 年度	実績をもとに⊦	H22 度検討

※CO₂排出係数は九州電力の 0.387kg-CO₂を使用しています

環境教育・地域との連携

○ 環境しつけ講座 H21年6月~H22年3月 ESDキッズクラブの講座5回を受講し水、ゴミ、

リサイクル、グリーンコンシューマ、エネルギーについて子どもたちと一緒に学びます。

 □ エコキャップ、リングプル回収活動 H21年9月~H22年3月 エコキャップ約150kg(60本分のワクチン) リングプル約7kg(車椅子1/10) 熊本リコーを通じて各団体へ寄付

○ 廃油回収活動

H21年5月~H22年3月

給食室 ⇒ 約100L

保護者 ⇒ 約100L

九州産廃を通じて再利用として工場の動力、ガソリンとして活用する他、堆肥化し、温暖化防止に貢献











たつだ保育園 エコの取り組み

H22.2.5(金)現在

年月	内 容
	・給食室食器洗浄機に「マイナス帯電生成装置」を設置
平成 20 年 4 月	食器洗浄剤(洗剤)を中止する
	(SP.Sコーポレーション)
5月	・給食から出る廃油を「九州産廃」へ回収開始
	保護者へ 廃油回収 の呼びかけをする
6月	・「保護者親善ミニバレー大会」で飲用、飲食する時の食器を
	使い捨てコップ、紙皿を使用せず、園児用のコップ、皿を使用する
7月	・年長組宿泊保育での食事の食器を使い捨て紙皿、トレイ、コッ
. , ,	プを使用せず、保育園から食器を持参して食事を行う
8月	│・「園内バザー」での飲食コーナーで、使い捨てコップ、皿、割り箸を使用せず、保育
0.7	園の食器、箸を使う
	・電気の保安点検、管理を「日本テクノ(株)」に代え、
	「ESシステムDNA」の機器を事務所に設置
	◆24 時間監視モニター開始◆
8月	*デマンド監視・・電力状況を監視、データ検出、電力値
	を予測し目標超過前にお知らせ
	* 電力使用量監視・・電力使用量の監視、目標超過前のお知らせ
	* CO2 排出監視 * 室内温度監視 などのサービスを受ける
_	・運動会時の水分補給の取り組みを使い捨て容器の使用をせず
9月	園児用のコップを使用、3歳以上児は各自水筒を持参する
	・給食から出る残菜処理に 「段ボールコンポスト」 の使用開始
平成 21 年 1 月	・キッズクラブ~手洗い指導編~年長児受講する - / 環境しのは講座を伊充の際は作るに持ちる)
1777=1173	(環境しつけ講座 を保育の取り組みに加える)
1月	・ 新聞紙エコバック を作り(年長児)「保護者会の親睦会」、
1,73	で保護者へプレゼント、紹介する
	・「 環境エコ」 職員の係りを決める
6 月	・ESDキッズクラブの講義を受ける
	・ESDキッズプログラム指導者養成講座申し込み
	・モデル園として取り組み始める
	│・「環境しつけ宣言」を園内に提示 │ 「哉・・「毒気・・「ずこ・のね火おちゃねにせる
平成 21 年 7 月	「 水」・「電気」・「ゴミ」 の担当者を6名にする
	* 保存しない記録用紙の裏面をコピー用紙として使用
	│ *水道使用量の検針開始 │ *プ・U・N・ス・カート クロート ス・カート が ロック は 日本 ロット
	│ *プール水の再利用(園庭へ散水、畑へ放水、雑巾かけ、足洗い用) │ *節電として空間の「宮内部宮洞度」を想示。電気をこまめに消す
	│ * 節電として空調の「室内設定温度」を提示、電気をこまめに消す │ * 可燃物、資源物、紙ごみの分別箱設置
	・「エコキャップ」「リングプル」の回収開始 / *****
9月	(熊本リコー)の協力により実施
	・節水、節電できる 洗濯機購入

環境しつけ 5回受講 (さくら組)	●年長組「環境しつけ講座」年間 5 回受講 「ゴミ編」平成 21 年 6 月 15 日(月)「水編」平成 21 年 7 月 16 日(木) 「リサイクル編」21 年 9 月 4 日(金)「お買い物編」平成 21 年 12 月 18 日 「エネルギー編」平成 22 年 1 月 22 日(金)
平成 21 年 12 月	●「発表会」にて 「地球を守れ!エコレンジャー」 のメッセージ劇を発表 ●職員用トイレに 500 m I のペットボトルを入れ、水量調節を行い始める
平成 22 年 2 月	「 エコカレンダー 」作製・在園児への卒園記念プレゼントとして 年長組が作製

(**給食室**)・サランラップ→ポリ塩化ビニリデンのものを使用

・ガスの節約→お湯を沸かす時は温水器のお湯を使用

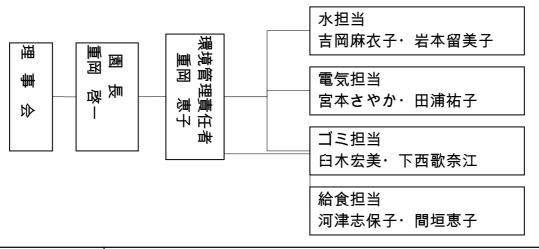
・生ゴミの減量化→野菜クズは畑で堆肥にする

(つぼみ組)・ポット使用残湯は、汲み置きして、次の日の雑巾かけに使用

(保育室)・牛乳パックでままごと用のテーブル・イス・仕切りなどを作製する

- ・使い古しのTシャツで、三つ編みをして「縄跳び」を作る
- ・子どもの製作には、牛乳パック、トイレットペーパーの芯を利用する
- ・水の量の加減、出しっぱなしに注意をはらう
- ・保育室の電気はこまめに消す

平成21年度 実施体制図





役 割	責任・権限
理事会・園長	・ 管理責任者から実施状況の報告を受け、1,2 月に全体の見直しを行う
	・ 実施状況を把握し、問題点、改善策を抽出し講じる
 環境管理責任者	・ 毎月職員会議で担当者から状況説明を受け、実施状況を把握する
垠児官垤貝怔白 	・ 取組状況を毎年5月理事会・園長へ伝える
	・ 毎年3月に保護者から環境の取組についての評価をもらう
-l. +a \/	・ 毎年2月に節水計画を策定し、節水協力を呼びかける
人 水担当	・ 水使用量を把握し、毎月月末の職員会議で報告する
電信 担业	・ 毎年2月に節電計画を策定し、節電協力を呼びかける
電気担当	・ 電気使用量を把握し、毎月月末の職員会議で報告する
ゴミ担当	・ 毎年2月にゴミ削減計画を策定し、リサイクルを呼びかける
	・ 廃棄物排出量を把握し、毎月月末の職員会議で報告する

給食扣当

給食で使用するガス、水、残さいの量を把握し毎月職員会議で報告する

3,000 2,500

2,000

1,500

1,000

500

■水使用量(m3)

・ 毎年2月に行動計画を策定し、削減努力を実施する

取組結果と評価



21年度

2.221

\Diamond 水 \Diamond

以下の内容について計画し、実施しました。

- 6月中旬から8月のプールの水を再利用
- ・園庭への散水 ・畑の水撒き
- ・足洗い用貯水・掃除用
- 職員トイレに 500ml のペットボトルを入れ水量調整
- 夏場の水分補給は、各自水筒を持参する
- 保護者に向けての水使用量の掲示
- 毎週土曜日に水量メーターの検針を実施7~8月の水の使用量比較表

(水量の使用量変化の同行調査)



水使用量の削減に貢献

年度	使用量	使用金額
H19 年	361m ³	\99,445
H20 年	311m ³	\85,795
 H21 年	260m ³	\71,872

19年度

2.828

H19 年と比較して 1 ヶ月で\27,573 削減できました!

147m³削洞

20年度

2.681







プールの水を再利用



プールの水を足洗いと散水活用中

水使用量は削減できないと思っていたが、職員全員で協力し削減努力した結果、平成 19年度と比較して 607 m³、平成 20 年度と比較して 460 m³削減できた。

次年度も更なる削減を目指して、出来ることを職員で探し実践していきます。

● 給食室に「マイナス帯電生成装置」を設置し洗剤を中止



川・海の汚染防止につながる





● 環境しつけ講座を通じて、子どもたちと

一緒に水を大切に使用します。



水の大切さを教えます



◇電気・ガス◇

以下の内容について計画し、実施しました

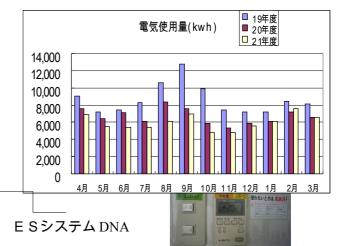
- 平成20年9月より電気の保守点検、管理 を「日本テクノ」に依頼し「ESシステム DNA」 の機器を事務所に設置することにより、電気の 使用状況を24時間管理し"ムダ・ムリ"の発見、 見直しを行う
- 空調の温度設定(冷房 28℃、暖房 20℃)
- 湿度計を各部屋に設置し、空調利用時の体 感温度の目安にする。
- 節電啓発シールを掲示
- 日中は自然光で過ごす



電気使用量の削減に貢献







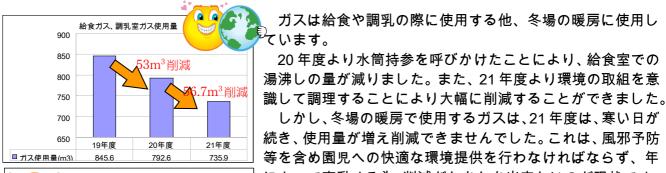
ガスは給食や調乳の際に使用する他、冬場の暖房に使用し

20年度より水筒持参を呼びかけたことにより、給食室での

しかし、冬場の暖房で使用するガスは、21年度は、寒い日が

平成 19 年度と比較して 31,741kwh(-30%)、平成 20 年度と比較して 8,366(-10%)削減すること ができました。これは、導入したシステム管理が目標数値よりオーバーしそうになると、音を鳴ら して知らせてくれるため、職員が意識して節電に心がけたことが一番の要因と考えられます。ま た、電気料金設定の方法等を学び、「ピークカット」として年間通じての数値を把握し、一番電気使 用量の多い夏場の電気量を大幅に減らすことができました。

次年度は、更なる削減を目指し、夏場のバザーの開催時間等の工夫を保護者会と一緒に検討し、 実施することとともに、イベントの多い年度開始・年度末の夜間電力の使用量を再度見直します。



暖房ガス使用量 196kg 增加 900 800 700 500 400 20年度

次年度も更なる削減を意識して 調理するとともに、暖房によるガ ス使用量削減も意識して取組んで いきます。

一緒にエネルギーを大切に使用します。

エネルギーの大切さを教えます





◇ゴミ編◇

- ダンボールコンポストを活用し、生ゴミ 堆肥を作ります
- 分別を徹底して行います
- ゴミ出しルールを掲示します
- 現在出しているゴミを分析し、どんなゴ ミがどこから排出されているかを把握しま
- 分別項目ごとに排出量を把握します



ゴミ排出量の削減に貢献













平成 20 年度よりダンボールコンポストによる生ゴミ堆肥化は実践してきましたが、改めて 見直し、生ゴミの排出量も把握することにより、効果的に堆肥化を実践することができまし た。

また、担当職員が率先してゴミの排出量、排出もとを調査した ことにより、問題点が抽出でき、燃えるゴミをリサイクルに分別 徹底することができました。

次年度は、把握した数量をもとにリサイクル目標値を設定し、 リサイクルの徹底を子どもたちと一緒に行います。あわせて廃 油の回収量UPも目指します。

環境しつけ講座を通じて、子どもたちと一緒に分別、リサ

イクルを実践します



モノの大切さ、分別方法を教えます







環境エコ年長児取組み

● 発表会にて 『地球を守れ!エコレンジャー』メッセージ劇





● 卒業記念プレゼント

『エコカレンダー』作成







総まとめ

環境方針に基づき、上記とりまとめた水・電気・ガス・廃棄物以外の取組結果は以下の通りです

こどもたちと職員は	評価	コメント
1.すべての物を大切にします	0	環境しつけ講座の中で、指導し実践しています
6.給食の食材は自家製も含め、県産、 国内産使用に努めます	Δ	現在、購入の際に県産、国産、外国産の確認し、国産に変更しているが、コスト面で検討しているものもあります。
5.しっかりおかたづけをします	0	毎日の生活の中で指導し、実践しています
7. 約束事はみんなで守ります	0	毎日の生活の中で指導し、実践しています
保護者は	評価	コメント
1.こどものお手本になります	0	保護者の方からご意見いただき、子どもたちと家庭での 取組み実践が増えたという声をいただいています。
2.自動車を止めたときはエンジン をきります	0	抜き打ちで調査した結果、○台中5台アイドリングストップしていなかった。しかし、していなかった理由として、祖父母や兄弟が同乗して待っている間、熱中症予防のためであるということのため、ほぼ実施できていると判断しました。

環境目標に対する実績結果のとりまとめ

古日	H19 年度(基準)	H20 年度	H21 年度		
項目	年間実績	年間実績	目 標	実 績	削減率
水使用量(m3)	2,828	2,681	2,000	2,221	-21.5%
CO2 排 出 量 (kg-	47697.3	29933.7		14730.8	-69.1%
CO2)	47097.3	29933.7	ı	147 30.0	-09.1%
・電気使用量(kwh)	103,543	80,168	77,657(-25%)	71,802	-30.6%
・ガス使用量(m³)	845.6	792.6	768.4(-7%)	735.9	-13.0%
・暖房ガス使用量(kg)	790	661	734 (-7%)	857	+8.5%

児童数当たりの CO ₂ 排 出量(kg-CO ₂ /人 · 日)	23.0	14.4	21.4(-7%)	7.3	- 68.3%
廃棄物リサイクル率(%)	-	_	数量把握	49%	_
給食残飯リサイクル率(%)	_	_	数量把握	25%	_

全体を通して、かなり削減ができた。削減できない部分も含め、環境の取組みを意識することの大切さを今回改めて痛感することができました。今後も初心を忘れずに継続していきたいと思います。

環境関連法令の遵守状況

過去3年間環境関連法規等への違反、関連機関からの指導および外部からの訴訟、苦情等 はありません。

代表者の全体の見直し、評価

重岡啓一園長より

平成21年1月にキッズクラブが主催する環境しつけ講座「水編」を受講したのをきっか けに、「環境しつけ宣言」し、水、電気、ゴミの担当を決め、その担当職員を中心に「エコ」に繋 がる保育園の生活で、自分たちが出来ることは何なのか?を考え取り組んだ結果、思いもか けない数値に結びついた。今まで意識しなかった行為も保育園全体で意識を持つことによ り、これほど数値として現れるとは予想していなかった。よって、平成 21 年度の取り組みに 対しては、非常に高く評価したい。

これから続けていくにあたり「やらされる、やらねばならない、ではなく、楽しみながらや る。自らの意思で取り組む、保育園になってもらいたい。また、子どもたちを通じて保護者の 意識がさらに変わることを期待したい。

保護者代表(内田さん)より

我が家では、娘2人がたつだ保育園でお世話になりましたが、次女が年長になった年に環 境についての取組みが始まりました。ちょうど我が家でもお風呂の残り湯と雨水の再利用、 野菜くずは畑へ、紙の分別を始めたのと同時期でした。娘2人とも最初は全く関心を見せな かったのですが、次女は園で環境について勉強してきた日から、家でも自分から環境の取組 を始めるようになりました。

また、回を重ねるごとにいろいろな分別の話をしてくれたり「出しっぱなしはダメだよ」 等、子どもから指摘され親顔負けになってきました。長女はというと、環境について何も習 っていなかったので、親が何度言っても興味がなく、長続きしませんでした。しかし、次女が 変ってからというもの、長女も一緒になって取組むようになってくれました。

親が言ったことは聞かなくても、先生や博士といった特別な第三者が言うことは、子ども たちにとって真剣になりとても大切なことだと痛感しました。これからも続けて欲しいで す。また、私も子どもに負けないようにもっと勉強しなければという気にさせられました。

平成22年度環境行動計画

水

- 1. 水の無駄使いをしません
- 2. 蛇口から出る水量を減らす(節水コマの導入)
- 3. 手洗い時は、水を出したままにしない
- 4. 蛇口はきちんと閉める
- 5. プールの使用水は、捨てずに再利用する

 - ・畑への水やり ・園庭への散水
- ・ 足洗い用として溜め水し、足を洗う



- ・雑巾洗い水として利用
- 6. トイレの水は、タンクのペットボトルを入れ、一回使用量を少なくする
- 7. 3ヶ月に一回、水の使用量を提示し、意識を高める
 - ・前年度分との使用量の比較をする

□ 電気 □

- 1. 照明の消し忘れがないように、スイッチ部分に注意のシールを貼る
- 2. エアコン使用時の温度設定を提示する
 - ・冷房・・28度 ・暖房・・20度 各部屋に温度計・湿度計を置き活用する
- 3. 蛍光灯の本数を部屋により減らす(日光の入り具合などを考慮する)
- 4. 子どもと共に、電気の消し忘れをチェックする
- 5. 日中は太陽の明かりを上手に利用し、照明の時間を短縮する
- 6. 残業をする場合は、一部屋でまとまり、各々の仕事に取り組む (効率よく仕事をする工夫も含めて、残業をしないように努める)
- 7. 電気製品の買い替えは、省エネタイプにする
- 8. 電気製品を使用するコンセントに関して、使用しない時は、コンセントを抜き、待機電力の無駄使いを少なくする

ロゴミロ

●リサイクルをします

- 1.リサイクル率100%を目指します。
- 2.ゴミの量を計測する
- 3.子ども(年長組)と共に、分別を行う
- 4.行事などでは(バザー、宿泊保育)使い捨ての紙皿、紙コップの使用をせず、 マイ箸、マイコップの持参で行う
- 5.紙ゴミの分別の仕方をわかりやすく提示する
- 6.保存しない記録用紙などは、一度使用した裏面を利用する
- 7.不必要なカラーコピーはしない
- 8.色紙、色画用紙の無駄使いを少なくし、切れ端の再利用に努める

●ゴミ分別 100%を実現します

- 1.ゴミ出しルール、分別表を提示する
- 2.分別の仕方を職員、子ども全員で覚える
- 3.分別ボックスを色別にする
- 4.ゴミを出す前に、分別の状況を確認する
- ☆月に1回クラスごとに分別の状況をチェックし、その結果を報告する

給食室●

- 1.廃油の回収状況を記録し、保護者にも回収状況を知らせる
- 2.残菜残食は畑で堆肥化させ、作物の収穫に繋げることにより循環型生活を実践する
- 3.残食無しになるように、おいしい給食作りに励む
- 4.食器洗浄・乾燥に関しては効率よく作業を行い、無駄な水・電気の消費をしない



□ グリーン購入 □

- 1.子どもたちへの教材や事務用品を購入する際は、エコマークがついているものをできるだけ購入する。
- 2.どんな物にどんなマークがついているのか調べる
- 3.給食食材を購入する際は、原産地を確認し、できるだけ国内産を使用するように努める